



【めざす生徒像】

『友愛』 他人に思いやりを持ち、ともに高め合う生徒

【社会の創り手となる生徒の育成】

『礼節』 礼儀と節度を守る生徒

【他者を価値のある存在として尊重できる生徒の育成】

『協力』 力を合わせ、よい校風をつくる生徒

【多様な人々と協働できる生徒の育成】

【学校教育目標】

生徒一人一人が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら豊かな人生を切り開く力を育み、社会の作り手となる生徒を育成する。



新しい年を迎えました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、健やかに新春を迎えたことと存じます。平素は本校の教育活動に多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。本年も教職員一同、生徒たちの健やかな成長のために尽力してまいります。

結びに、保護者の皆様におかれましても、引き続き本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和8年（2026）年は午（うま）年です。実は「午」という漢字を見る機会は非常に多く、日常生活において基本的な漢字の一つと言えます。

かつて、日本では時刻や方角を十二の漢字で表していました。例えば、午の刻は暁の十二時ごろであり、午の刻の前を「午前」、午の刻の後を「午後」というのもここから来ています。暁の十二時は、ちょうど「午の刻」の真ん中にあたります。このため、「正（まさ）に午の刻」という意味で「正午」という言葉が生まれました。また、子（ね）の方角は北で、午の方角は南ですから、地球の北と南を結ぶ線を「子午線」と呼んでいます。



3学期は新学年の〇学期～新しい学年への確かな準備を～

1月8日の始業式においても生徒たちに「3学期は新学年の〇学期」という話をしました。学校便りでもあらためてお伝えします。

さて、いよいよ今日から3学期が始まりました。3学期は1年間を締めくくる大切な学期であると同時に、「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」と言われるほど、あっという間に過ぎ去ってしまいます。

この3学期を生徒の皆さんにとって「新学年の〇学期」と捉えてほしいと考えています。次の学年が始まる4月に向けての「準備期間」、あるいは「助走期間」として、この短い期間をどう過ごすかによって、来年度のスタートが大きく左右されます。

1年生

もうすっかり中学校生活にも慣れ、4月には新入生を迎えて「先輩」となります。この3学期は、先輩としての自覚と責任について考え、生活態度や学習面で後輩に手本を示すことができるよう、自分自身を高めていきましょう。

2年生

中学校の「最高学年」、学校の顔となります。3学期はリーダーとしての自覚と責任を育み、最上級生として心構えをしっかりと準備しておきましょう。また、来年度の進路実現を見据えて、「確かな土台」を築く時期です。これまでの学びを振り返り、基礎固めなど早めに準備を進めていきましょう。

3年生

中学校生活最後の、そして最も重要な「〇学期」です。いよいよ目前に迫った入試に向けて、これまで積み上げてきた努力を信じ、体調管理に万全を期しながら、自分の力を最大限に発揮できるよう、最後の追い込みを頑張ってください。一日一日を大切に、今の仲間と過ごす残り少ない中学校生活を充実したものにしてください。そして、後輩たちに立派な姿を見せてください。

「3学期は〇学期」。この言葉を胸に、生徒一人ひとりが次の学年、そしてその先の未来への希望や目標を持ち、4月からの自分の姿を思い描きながら、一日一日を大切に過ごしてくれることを願っています。

令和7年12月8日23時15分頃に青森県東方沖を震源とするM7.4の地震が発生しました。この地震の発生により、北海道の根室沖から東北地方の三陸沖にかけての巨大地震の想定震源域では、新たな大規模地震の発生可能性が平常時と比べて相対的に高まっているとされ、翌日には北海道・三陸沖後発地震注意情報が発表されました。今から15年前には東日本大震災が、2年前には能登半島地震が発生し、甚大な被害が出ました。近畿・東海地方においても、南海トラフ地震が「いつ起きてもおかしくない非常に高い確率」と予測されています。

私たちの身を守るために、地震発生時の行動（安全に身を守る・火の始末・避難経路確保）を具体的に計画し、家族や皆で共有することが命を守る鍵となります。